みんなの生活の今と未来がわかる情報誌

MIC
Ministry of Internal Affairs and Communications

総務省

11月号
November
2026年
Vol.311

P2 特集
毎日に、万一に、ワイドFM
災害時にも役立つラジオ
「ワイドFM」を
ご存じですか？

P6 地方のかがやき
利府町

表紙の写真：宮城県利府町にある「馬の背」は、波の浸食で生まれた約250mの天然の桟橋。先端まで歩いて行ける景勝地です。



P10 MIC NEWS 1
11月9日（月）から11月15日（日）まで
秋季全国火災予防運動を実施します！
この機会に防火への意識を高めましょう

P12 MIC NEWS 2
騒音や大気汚染などに困ったときは…
市区町村等の「公害苦情相談窓口」に
相談できます

P14 MIC NEWS 3
サービス産業動態統計調査への
ご回答をお願いいたします

P15 地域DXのヒント
マイナンバーカードを活用した
温泉施設の入浴料割引

特集

毎日に、万一に、ワイドFM

災害時にも役立つラジオ「ワイドFM」をご存じですか?

ワイドFM（FM補完放送）とは！

ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送エリアにおける難聴対策や災害対策のために、AM放送をFM放送用の周波数でも聴けるようにした放送サービスです。

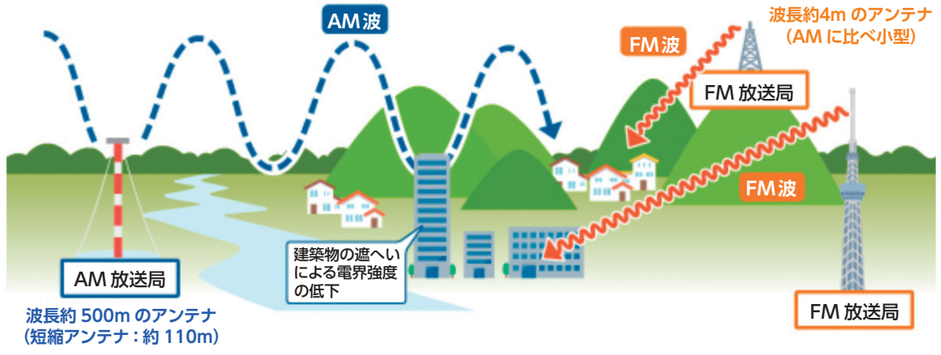


ワイドFMの特徴やAM放送との違いとは！

ワイドFMでは、AM放送では電波が届きにくい建物の中や高層ビルに囲まれた場所、放送局から離れていて山かげになる場所などでも、FM補完中継局からのFM放送用（76.0～99.0MHz）の周波数を使ってAM放送の番組を受信できます。そのため、これまで聴取しづらかった場所でも、快適にラジオを聴くことができます。

AM放送とFM放送では使用する周波数帯が異なり、周波数や変調方式の違いによって電波の届き方や音質などにそれぞれ特徴があります。FM放送は、AM放送に比べて雑音の影響を受けにくく、よりクリアな音声で番組を楽しむことができます。

AM放送のアンテナは、送信周波数との関係から、FM放送より大型のものを設置する必要があります。また、伝導率の高い土地（多くの水分を含んだ土地）が必要であるため、沿岸部や河川近くの広い土地に設置されていることが多くあります。それに対し、FM放送のアンテナは、基本的には高層建築物や山頂といった高所に設置されるため、津波や洪水の被害を受ける可能性が低いことも特徴の１つです。



	AM放送	FM放送
周波数（割当）	526.5～1606.5kHz	76.0～99.0MHz
送信アンテナ設置場所	沿岸部や川辺など広い敷地	山頂や鉄塔
建物内	聴こえにくい	聴こえやすい
山かげ	回り込みやすいので聴こえる	回り込みにくいので聴こえない
到達範囲	広い（海外にも電波が到達）	中程度（数10km～100km程度）
電波雑音による混信	放送波の強弱に関わらず、雑音は音として出力される	放送波が強い場合、雑音は出力音に出てこず、影響小

ワイドFMを聴くことができるラジオとは！



ワイドFMを聴くには、従来のFM放送用の周波数（76.0～90.0MHz）に加えて90.0～99.0MHzに対応したラジオ受信機が必要です。お手持ちのラジオ受信機の対応周波数帯域をぜひご確認いただければと思います。なお、95.0～99.0MHzは、令和７年５月に拡張された周波数であり、これらの周波数によるFM放送は開始されていません。

ワイドFMで災害に備えるためには！

令和６年能登半島地震や令和８年熊本地震をはじめ、近年は地震や豪雨などの自然災害が日本全国で頻繁に発生しています。そのような災害が発生した際に、避難情報や生活に必要な情報を確保する手段として、受信機が電池のみで長時間稼動するラジオは重要な役割を果たします。

ワイドFMを聴くことができるラジオがあれば、いざというときに継続して情報を得られる可能性がより一層高まります。日頃からぜひワイドFMをお聴きいただき、災害などの万一の場合でも情報を受け取ることができるよう、備えてみてください。

総務省としては、FM補完中継局の整備に対する支援や、ワイドFMを知っていただくための周知活動を引き続き進めていきます。



ワイドFMをもっと身近に！

総務省では、平成29年度からワイドFMの周知広報活動を開始しました。ワイドFMという存在をより身近に感じてもらえるよう、全国の公共施設、JR駅、サービスエリア、道の駅などでのポスター掲示や、総務省YouTubeチャンネルによる動画配信を行っています。

令和7年度は、「毎日に、万一に、ワイドFM」をキャッチフレーズに、令和8年3月2日から同年3月31日までを「ワイドFM広報強化期間」と設定し、声優の伊藤美来（いとうみく）さん出演の縦型ショートドラマ（全2編）を公開しました。ワイドFMの特徴である「クリアな音質」と「災害時の安心感」を、ヒューマンドラマテイストに織り込んだストーリーとなっています。

ワイドFMは、災害時に乾電池さえあれば情報を得られる信頼性があり、日常の中にも安心をもたらす存在です。情報を得る方法や人とつながる手段が多様に存在する今、登場人物のラジオを通じた交流から、ワイドFMをはじめとしたラジオ聴取について今一度興味を持っていただくきっかけになれば幸いです。

公開した縦型動画は、同年3月31日時点で前後編合わせて210万回以上再生され、幅広い世代の方にワイドFMを知っていただける機会となっています。写真下に記載のWebサイトから視聴可能ですので、ぜひご覧ください。





URL
https://www.youtube.com/@soumuchannel/shorts

参考

AM放送局の運用休止に係る特例措置について

民間AMラジオ放送事業者において、AM放送の維持コストの負担が難しいといった理由などにより、AM放送を廃止してコストが抑えられるFM放送への変更（FM転換）や、FM転換を伴わないAM放送の中継局のみ廃止することが検討されています。

総務省では、民間AMラジオ放送事業者が経営判断として運営負担の大きいAM放送局を休止し、負担の小さいFM放送局に転換した場合の影響を検証するため、一定期間内にAM放送を休止できる特例措置を設けています。特例措置の適用を受けた民間AMラジオ放送事業者は、AM放送の運用を休止し、その影響の検証を行っております。

ページ下に記載のWebサイトに詳しい内容を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

また、総務省においても聴取者などからのお問い合わせを受け付ける窓口を設置しておりますので、AM放送局の運用休止に係る特例措置についてのご質問やご意見がございましたら、お問い合わせください。



URL　https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/am_station.html

撮影を終えて 伊藤美来さんにインタビュー！



――撮影を終えての感想をお願いします。

【伊藤さん】ドラマの撮影で役を演じるのはほぼ初めてだったので、すごく緊張しました。実写でやるお芝居は、いつもやっているアフレコやキャラクターに声をあてるお芝居とはまた違って分からないことだらけだったのですが、スタッフの皆さんが優しく声をかけてくださったり、指導してくださったりして、良いものが撮れたんじゃないかなと思います！



――ラジオが物語の軸になっていますが、撮影を通して伊藤さんが改めて感じた“ラジオの良さ”はどんなところでしたか？

【伊藤さん】ラジオはよく聴くのですが、流れている間にふと自分が欲しかった言葉や自分が悩んでいることへの答えに近いものが出てきて、耳と心に言葉がストレートに入ってくるところが、ラジオの魅力じゃないかなと思います。

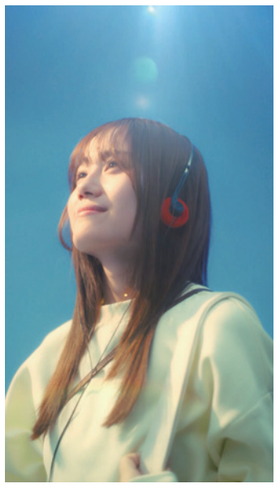


――ラジオは楽しむだけでなく災害時にも活用できますが、伊藤さんが災害対策として日頃から用意されているものがあれば教えてください。

【伊藤さん】私は玄関に防災リュックを置いています。中にお水や袋などの重要なものをたくさん入れているのですが、この撮影で“乾電池で動くポータブルラジオ”といった（災害時でも）情報を入れられるものを入れておくべきだなと思いました。帰ったらすぐに入れようと思います！

――最後に、この動画をご覧になる皆さまへ、一言メッセージをお願いします。

【伊藤さん】ラジオは、皆さまの隣にいつも寄り添ってくれる本当に素敵なメディアです。特にワイドFMは、とても綺麗な音で皆さんに安心を届けてくれます。このドラマをきっかけに、皆さんの日常や万一の備えに、ラジオを取り入れてもらえたらうれしいです！





馬の背

松島湾に突き出す、細長い天然の桟橋のような景勝地。長年の波や風による浸食で生まれた奇岩で、風光明媚な松島の海を間近に望める人気スポット。



地方のかがやき

利府町（りふちょう）［宮城県］

都市機能と自然環境に恵まれた暮らしやすさが光るまち

仙台市に隣接し、交通アクセスや商業施設、子育て環境などに恵まれた利府町。大型商業施設やスポーツ・文化施設が充実する一方、海や山の自然にも恵まれています。松島湾に面した海岸沿いには、天然の桟橋として知られる表松島「馬の背」をはじめ、美しい景観が広がります。歴史やグルメ、レジャーなど、幅広い楽しみ方ができるまちです。

TGR ラリチャレ利府・利府ラリー

国内屈指のモータースポーツイベント。「新たなスポーツ文化創造」を目指し、町のにぎわい創出と魅力発信につなげる。



Rifu-Town

人口：35, 833 人（令和 8 年 9 月末現在）
面積：44. 89 ㎢
URL：https://www.town.rifu.miyagi.jp/

利府梨

明治時代から栽培が続く利府町の特産品。みずみずしい果肉と上品な甘さが特徴の町を代表する秋の味覚。





子馬

「馬の背」の対岸に位置する、一回り小さな景勝地。親子のように並ぶ姿から「子馬」と呼ばれている。



榎川砂防公園（えのきがわさぼうこうえん）

複合遊具や水辺が整備された自然豊かな公園。夏には川遊びや水中生物探しなど、こどもたちの自然体験の場となっている。



利府城跡

伊達政宗の叔父・留守政景（るすまさかげ）が居城とした城跡。現在は館山公園として整備され、春は桜の名所として多くの花見客でにぎわう。

利府町は宮城県の中央部に位置し、仙台市や塩竈市、多賀城市などに接する人口約 36,000 人のまちです。町の東部は松島湾に面し、海へ細長く突き出す「馬の背」など、美しい海岸景観が広がります。

市街地には東北最大級の商業施設やグランディ・21宮城県総合運動公園、JR東日本新幹線総合車両ベースなどが立地。住宅都市として発展する一方、明治期から約 150 年続く梨栽培も受け継がれ、旬の時期には町内各所に直売所が並びます。

JR3 駅、高速道路のインターチェンジ 4 か所を有する交通利便性に加え、スポーツ・文化拠点、農業、豊かな自然など、多彩な地域資源がコンパクトに共存している利府町。こうした資源を生かしながら、交流人口の拡大や子育て支援などを進め、次世代にも選ばれるまちづくりに取り組んでいます。



加瀬沼公園

加瀬沼のほとりに広がる都市公園。広大な芝生広場や大型遊具、バーベキュー場があり、四季を通じて楽しめる。

加瀬沼公園の白鳥

冬になると加瀬沼には多くの白鳥が飛来。水辺を優雅に泳ぐ姿が見られ、季節の風物詩として親しまれている。





藤田川橋梁

「山線」の愛称で親しまれた東北本線の旧線跡に残る、れんが造りの橋梁。国の登録有形文化財に登録されている。

番ヶ森（ばんがもり）

標高 216m で町内最高峰。山頂の展望台からは松島湾や泉ヶ岳などを一望でき、トレッキングにも適している。





グランディ・21 宮城県総合運動公園

スタジアムやアリーナ、プールなどを備えた宮城県最大級のスポーツ拠点。各種大会やコンサート会場としても活用されている。

ハイハイレース

ベビーファースト活動の一環として開催される、赤ちゃんが奮闘するレース。プロの実況も交え、親子で楽しめる。



安定したインフラ維持を目指す
水の官民連携



下水道管内を流して調査する「S スマートボール」。下水を止めずに調査でき、破損箇所の特定や点検準備の時間短縮に役立つ。



漏水修繕や維持管理など、従来は個別に発注していた業務を包括委託。業務の効率化と迅速化につなげた。

施設の老朽化、技術職員不足などを背景に、2025年度に上下水道一体で全国初の「水の官民連携」を導入。町が運営責任と資産を保持し、漏水修繕や維持管理、料金窓口など従来個別に発注していた業務を民間へ包括委託する施策です。

発注件数が年間75％削減され、業務の迅速化やDX導入も進みました。さらに、民間の専門職が町職員と同じフロアで働き、日常的に知識を共有。平時から災害時まで対応できる体制を整え、持続可能な上下水道事業を目指しています。



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

ふるさと納税で移住を後押し
e-ハマハウス

利府町では、企業版ふるさと納税で寄附された住宅を活用し、お試し移住体験住宅「e-ハマハウス」を整備しました。改修にはクラウドファンディング型ふるさと納税による寄附金も活用。移住希望者は実際に町で暮らしながら、移住コーディネーターによる希望に応じた町内案内を受けられます。

2025年度は13組32人が利用し、そのうち１組３人が実際に利府町へ移住。こうした取組は「ふるさと納税未来創造AWARD」の「交流・にぎわい創出賞」にも選ばれました。

町外在住の移住希望者限定。移住コーディネーターによる町内案内付き。

春から秋にかけて体験を実施。住宅は松島沿岸の風光明媚なエリアに建つ。



魅力がいっぱい！利府町のいち押し

まだまだ「余白」のあるまちです！



利府町シティセールス
動画運営アドバイザリー
おパパ（板橋 宏明）さん

YouTuberとして活動しながら、町長と一緒に「利府レッシュ町長」で利府町の魅力を発信しています。行政というと少し堅い印象がありますが、動画ならもっと親しみやすく伝えられます。イベントも多く、発信したいネタには困らない、まだまだ「余白」のあるこれからのまちです。



YouTubeとInstagramで展開する「利府レッシュ町長」。

新たなスポーツ文化創造にチャレンジ
スポーツのまち利府



2025年６月に開催された「TOYOTA GAZOO Racing（TGR）ラリーチャレンジ2025 in 利府」の集合写真。



老若男女問わず楽しめるモルック。2025年12月には「利府町長杯モルック大会」が開催された。

利府町では、スポーツを「する人」「みる人」「ささえる人」が一体となり、新たなスポーツ文化を育むまちづくりを進めています。町内にはグランディ・21（宮城県総合運動公園）をはじめ充実したスポーツ環境があり、その強みを地域活性化にも活用。モータースポーツでは「利府ラリー」などを開催し、交流人口の拡大や町の魅力発信につなげています。

また、スポーツ庁の「スポまち！表彰2025」に選ばれた武道ツーリズムなど、新たな分野にも挑戦。町民が多様な競技を体験できる「十符の里スポーツパークフェスティバル」も開催するなど、スポーツを楽しむ機会を広げながら、スポーツを核としたにぎわいの創出を目指しています。



多彩なスポーツを気軽に体験できる「十符の里スポーツパークフェスティバル2026」。



利府町ならではの弓道文化を生かし、武道体験と観光を組み合わせた「武道ツーリズム」を展開。

知って、来て、住みたくなるまちを目指します



利府町長
熊谷（くまがい） 大（ゆたか）

利府町は、仙台市に隣接する利便性の高い地域と、「馬の背」のある表松島をはじめとした自然豊かな地域の両方を楽しめるまちです。

私は職員に「前例踏襲だけでなく、前例をつくる側になろう」と伝え、ファーストペンギンの精神で新しい取組に挑戦してきました。水の官民連携やモータースポーツ、武道ツーリズムなどもその一例です。

まず利府町を知ってもらい、訪れてもらい、好きになって、住んでもらう。その流れを大切にしながら、誰もがまちづくりに参加できる、明るく元気な利府町をつくり、将来の単独市制移行を目指していきます。

MIC NEWS 1

11月9日(月)から11月15日(日)まで
秋季全国火災予防運動を実施します！
この機会に防火への意識を高めましょう



住宅用火災警報器の設置および維持管理について

家庭に設置されている住宅用火災警報器については、火災予防運動中に点検を実施し、故障や電池切れが見つかった場合は、必ず機器を交換するようにしましょう。

また、住宅用火災警報器は、電子部品の劣化などにより火災を感知する機能が低下しているおそれがあるため、設置後10年を目安に本体を交換するようにしましょう。



※1　住宅用火災警報器の電池の寿命の目安は約10年とされています。警報器の作動確認は、春秋の火災予防運動の時期に行うなど、定期的に実施してください。

※2　故障か電池切れか分からないときは、取扱説明書を確認するか、メーカーにお問い合わせください。なお、電池切れと判明した警報器が設置から10年以上経過している場合は、本体内部の電子部品が劣化して火災を感知しなくなることが考えられるため、本体の交換を推奨しています。

住宅防火いのちを守る10のポイント

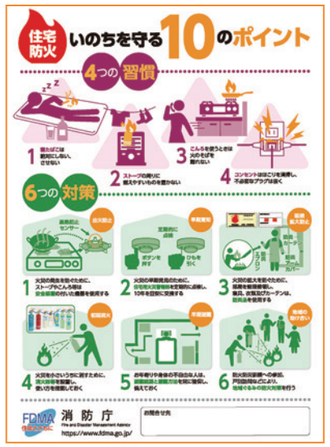
消防庁では住宅火災による死者の発生を防ぐため、多くの方に理解していただきやすいようにその対策をまとめた、「住宅防火いのちを守る10のポイント」を作成しています。

● 4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストーブ周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

●6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防炎品を使用する。
4. 火災の小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。



地震時の電気火災対策について

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、電気が原因で発生した火災が過半を占めています。

電気が原因で火災が発生する要因は、地震によって傷ついた電気配線などから火花が出たり、倒れた電気ストーブに可燃物が接触するなどして火災が発生します。

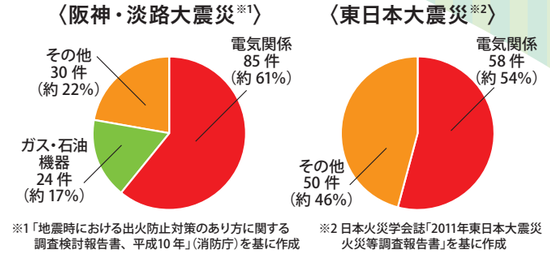
これら地震時の電気火災を防ぐための対策を地震前後の流れに沿って紹介します。

① 事前の対策（日頃の備え）

- 感震ブレーカーを設置すること。
- 住まいの耐震性を確保すること。
- 家具等の転倒防止対策（固定）を行うこと。
- ストーブ等暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないこと。
- 安全装置の付いた製品等を使用すること。

② 停電時・避難時の対策（地震直後の対応）

- 停電中は家電製品のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。
- 停電時に自宅から離れる（避難する）際は、ブレーカーを落とすこと。



※1「地震時における出火防止対策のあり方に関する調査検討報告書、平成10年」(消防庁)を基に作成

※2 日本火災学会誌「2011年東日本大震災火災等調査報告書」を基に作成

③ 停電から復旧（再通電）時の対策

- 家電製品、配線やコードに破損・損傷はないか、燃えやすいものが近くにないかなどの安全を確認してから家電製品を使用すること。
- 壁内配線の損傷や家電製品の故障等により、再通電後、しばらく経ってから火災になることがあるため、再通電後は余震に注意しつつ、家の中に留まり、煙の発生や異臭などの異常を発見した際は、直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡すること。





2026年度全国統一防火標語

火の確認　いい日を支える　いい習慣

消防庁では、火災予防啓発用の動画やチラシを作成し、消防庁ホームページに掲載しています。住宅火災からいのちを守るための対策の確認にお役立てください。



全国統一防火標語ポスター



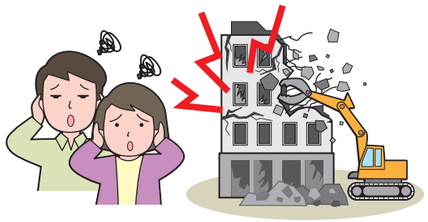
秋季全国火災予防運動ポスター

お問い合わせ先　総務省消防庁予防課
TEL: 03-5253-7523（火災予防運動について）
https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/prevention001.html

MIC NEWS

騒音や大気汚染などに困ったときは…市区町村等の「公害苦情相談窓口」に相談できます

このような被害でお困りですか？



騒　音

・解体工事の音で生活に支障がある。
・工場の機械の音がやかましく、体調がすぐれない。



大気汚染

・農地での焼却の煙が、住宅内に入り込む。
・工場からの煙や粉じんで、家や車、洗濯物などが汚れる。
・工事現場から土ぼこりが飛んできて、洗濯物を外に干せない。

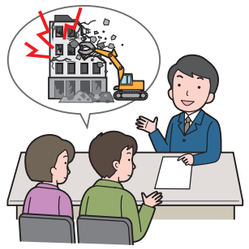
このような身近な「騒音」などによる被害でも、相当範囲にわたる（ある程度の広がりがある）場合は、「公害」となります。公害は、上記２種類のほかに「水質汚濁」「土壌汚染」「振動」「地盤沈下」「悪臭」があり、「典型７公害」と呼ばれています。

公害で困ったら市区町村または都道府県の「公害苦情相談窓口」に相談することができます

解決までの流れ

1 苦情相談

市区町村または都道府県の公害苦情相談窓口の担当職員に相談できます。



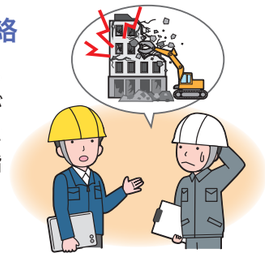
2 現場の確認

担当職員が、相談を受けたことについて被害の実情などを調べます。



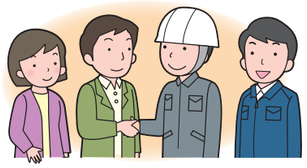
3 相手側への連絡

被害の原因や実態がはっきりすると、担当職員が関係者に対し、条例等に基づいた改善のための指導や助言等を行います。



4 解決！

このようにして公害苦情の解決に努めています。



公害苦情相談窓口はこちらから

市区町村または都道府県の公害苦情相談窓口の連絡先は、公害等調整委員会ホームページに掲載しています。
公害苦情相談窓口
https://www.soumu.go.jp/kouchoi/complaint/soudan_madoguchi.html

公害苦情相談で解決できないときは

公害紛争処理制度では、公害苦情相談のほかに「調停」や「裁定」といった手続を利用することができます。
くわしくは、公害等調整委員会のホームページをご覧ください。

調停・裁定では、専門家や公害に関する知識がある方が調停委員会・裁定委員会の委員となります。
また、申請手数料は裁判所に比べて安く設定されています。

調　停

調停とは合理的な解決を目指して双方の合意をはかる手続きです。
申請先は**各都道府県に置かれている公害審査会等**になります（重大事件等を除く）。

裁　定

裁定とは、当事者間の紛争について裁定委員会が法律的判断を行うことにより、紛争の解決を図る手続きです。
申請先は**公害等調整委員会**（国の機関）です。

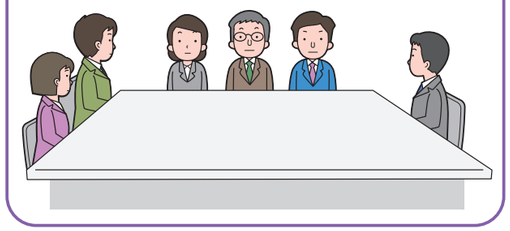
調停の申請



裁定の申請



調停期日（非公開）

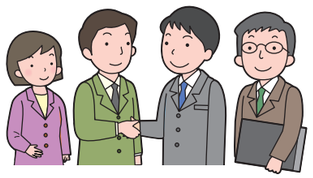


審問期日（公開）

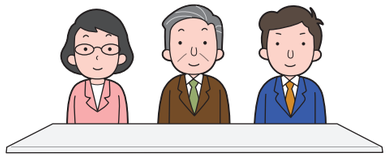


※裁定委員会の判断により、期日は Web 会議や現地で行う場合もあります。

合意の成立



裁　定



総務省公害等調整委員会事務局
公調委　公害相談ダイヤル

e-mail　kouchoi@soumu.go.jp
URL　https://www.soumu.go.jp/kouchoi/

TEL 03-3581-9959
月～木曜日　10:00～12:00、13:00～17:00
（祝休日および12月29日～1月3日は除く）
※都合により臨時休業する場合があります。

公害等調整委員会　検索

サービス産業動態統計調査への ご回答をお願いいたします

調査概要

本調査は、我が国におけるサービス産業の事業活動の動態を明らかにすることを目的にした、国の重要な統計調査（基幹統計調査）です。

調査結果は、政府による経済動向把握・基調判断のための基礎資料、四半期別 GDP 速報（QE）などの基礎データ、民間企業および学術研究機関における業界ごとの景気動向の把握など、幅広く活用されています。

本調査の対象産業

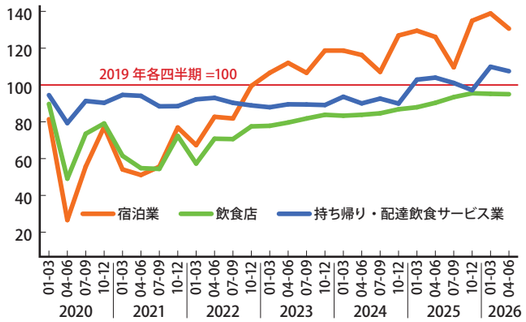
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- サービス業（他に分類されないもの）

調査結果から見える サービス産業の動き

本調査では、主に事業活動の売上高の動きを月ごとに把握しています。ここでは、「宿泊業、飲食サービス業」「情報通信業」の２産業の動きを紹介いたします。

宿泊業、飲食サービス業

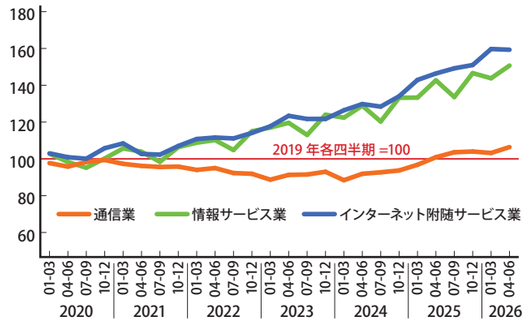
Point！ 国内外の旅行需要の高まりを背景に、「宿泊業」は成長し、「飲食店」および「持ち帰り・配達飲食サービス業」もコロナ前の水準まで回復



※上図の2024年以前の値は、サービス産業動向調査の結果を用いています。

情報通信業

Point！ 急速なAI技術発展や国内のDX需要の高まりなどを追い風に、「情報サービス業」および「インターネット附随サービス業」は急速に成長



※「インターネット附随サービス業」とは、クラウドサービス（SaaS）やネットショッピングサイトなどインターネットを通じて、通信および情報サービスを提供する事業のこと。

サービス産業動態統計調査の結果は、インターネットからもご確認いただけます
https://www.stat.go.jp/data/mbss/kekka.html

調査へのご協力をお願いいたします

本調査は、調査対象となられた企業等・事業所の皆さまからのご回答によって支えられています。

ご回答いただく内容は売上（収入）金額と従業者数の２項目と簡単なものとなっており、統計法に基づいて厳重に保護され、統計の作成以外の目的に使用されることはありません。

サービス産業の動きを正確に捉えるため、本調査へのご理解の上、ぜひご回答にご協力ください。

地域DXのヒント 総務省 地域DX 検索

マイナンバーカードを活用した 温泉施設の入浴料割引

地域 DX のヒント第 31 回では、自治体におけるマイナンバーカードの利活用について鹿児島県南九州市の事例をご紹介します。

南九州市では、高齢者等の外出や健康づくりを支援するため、65歳以上の方や障害者手帳を所持している方を対象に、市営の温泉施設の入浴割引券を発行していましたが、地域によっては対象施設まで距離があるなど、利用しづらいとの声があり、対象施設を民営温泉施設に拡大することを検討していました。対象施設の拡大には、割引対象者の確認および利用実績の管理等に課題がありました。また長年地域の方々に利用されてきた市営の温泉施設が閉館したこともあり、より身近に利用できる環境を整えることが課題となっていました。

そこで、これらの課題を解決するため、マイナンバーカードの空き領域に割引利用の登録を行うこととしました。これにより、温泉施設における割引対象者の確認が容易になりました。また、利用実績を正確に把握できるようになったことで、利用状況の集計や分析を行うことが可能となり、これらのデータを今後の事業の検証や見直しに活用することもできます。





利用者からは、「市営の温泉施設だけでなく、近くの民間の温泉施設でも利用できるようになり便利になった」といった声が寄せられています。

今後も南九州市では、マイナンバーカードの利活用の取組を進め市民生活の利便性向上に努めていきます。

編集後記 editorial note

11 月号をお読みいただき、ありがとうございます。

今回の地方のかがやきでご紹介した宮城県利府町は、仙台市の中心部からも近く、アクセスのよさも魅力のまちです。グランディ・21 宮城県総合運動公園を有するスポーツのまちとして知られていますが、梨の産地としても有名で、その生産量は全国でも上位です。実りの季節を迎えたまちには、どこか穏やかであたたかな空気が流れていました。

利府町では、スポーツによるまちづくりに関する取組、水の官民連携、ふるさと納税に関する取組についてのお話を伺いました。

職員の方々の「前例を踏襲して業務にあたりつつも、ファーストペンギンとなることを意識している」という言葉が心に残りました。

末尾になりましたが、今回ご協力いただきました皆さまにも心より感謝申し上げます。

（広報室　M.K）

● 広報誌「総務省」についてのご意見・ご要望は、電子メールでお寄せください　MAIL ▶ kohoshi@soumu.go.jp








活力ある地域づくりのヒントが見つかる

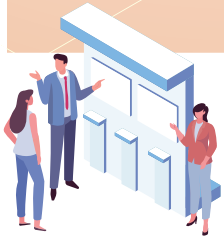
地域社会DXナビ



総務省公式サイト「地域社会DXナビ」は、地域社会DXに関する
優良事例、知見、ノウハウなどをニュース形式で配信するポータルサイトです



豊富な条件から
事例を検索



地域社会DXに関する
イベント情報を掲載



総務省の**支援事業**を
ていねいに解説



用語集や1分解説など
基本情報も充実

総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

地域社会DXナビ

https://dx-navi.soumu.go.jp

総務省 Ministry of Internal Affairs and Communications 2026年11月1日発行 第311号（毎月1回発行） 発行／総務省 編集協力／株式会社角川アスキー総合研究所 印刷／株式会社ダイサン Printed in Japan

この印刷物は古紙配合率70%再生紙を使用しています。